

Vol.195

院長 関の

Face to Face

2024年9月1日発行

いよいよコロナワクチンのB類定期接種が始まる。これは任意で、基本的には自己負担だが、自治体によってはいくらか助成される。65歳以上が対象で、60歳から64歳までであっても重症化リスクが高い場合は対象となる。私のところにも早速案内状が届いた。法的な義務はなく、あくまでも自己責任と書いてある。このコラムを書いている9月時点で国が死亡認定した人数

秋からのコロナ定期接種

「危ないワクチン」販売を命じられた製薬会社現役社員の慟哭

私たちは売りたいくない!

世界初のレプリコンワクチンの正体とは?

チームK

日本人は実験動物? 安全を失う十分な証拠なし、なぜ接種開始する?

これまでは安全だったインフルエンザワクチンも、今頃は危険に? あなた大切な人を守るために、どうしても伝えておきたいこと。

ワクチンを一冊販売してきた

Meiji Seika Pharma現役社員が全力で警鐘を鳴らす!

は八三十五人。そのうち突然死は二百二十七人。多くの国民はまったく知らない。大手マスコミはまったく報道しない。この状況下、更に新しいタイプのコロナワクチンが唯一日本で承認され、定期接種のワクチンに加わることになった。ごく少量で、コロナタンパクを作る遺伝子を増殖させるレプリコンワクチン。名前は「コストイベ筋注」。これを含め、5種類のワクチンが準備されるわけだが、誰がどれを打てるかはその時にならないとわからない。長期的にも何が起ころるかわからない。わからないことだらけだ。

死者、体調不良者は認定数だけでは計れない。当院の患者さんや知人にも申請はしていないがワクチンかも：という人はいる。超過死亡は50万人以上とも言われている。明治製薬ファルマの現役社員が「私たちは売りたいくない!」という本を出版した。当初のコロナワクチンで、健康そのものの同僚を、突然亡くしたことが大きな動機となったという。政府は方針を変えない。マスコミも利権があり方針は変わらない。ならば我々が変らなければならぬ。立ち上がれ日本人! 私は祈る気持ちでこの秋を迎える。

関 修一(せきしゅういち)

健育会 東銀座整骨院・整体院・

鍼灸院・マッサージ院 院長

代替医療の総合治療院としての

確立を目指す。タイトルのFace

to Faceは「患者さん自身と向き

合って患者さんの症状と闘う」こ

とを願ってつけた

※毎月一日の発行です